

◆ Google Meet について

台風や梅雨の時期となりました。安全のための措置などで、オンライン授業が必要となるかもしれません。今回 はオンライン授業で活躍するMeetについて情報をまとめました。

◇ Meet の利用方法とできること

・通常のMeet(Meetのサイトから利用)

「abc-defg-hij」といったコードや、英数字や一部の記号を用いて決めたニックネームを接続相手と共有して(相手に伝えて)利用するMeetです。

「新しい会議を作成」ボタンで会議を作成した人が主催者となり、権限を持ちます。学校で合言葉のようにニックネームを決めておけば、一つのニックネームで様々なビデオ通話に対応できるようになります。

・クラスルームのMeet(クラスルームから作成・利用)

クラスルームから会議を作成できます。会議の作成後はク ラスルーム内の「参加」ボタンより参加可能です。

先生がMeetに接続するまで会議が始まらず、必ず先生側の参加者が主催者となります。

会議の終了時は必ず「通話を終了して全員を退出させる」を 選択するようにしてください。

・GoogleカレンダーのMeet(Googleカレンダーから作成・利用)

Googleカレンダーの予定に会議を作成します。予定を繰り 返しに設定することで一度作成した会議を何年も使い続ける ことが可能です。主催者は会議を作成した人(予定を作成し た人)となります。

休みがちな児童生徒とMeetを行う場合も一度作成したコードで何年もMeet接続が可能です。別の予定として会議を作成すれば複数人と個別のMeet接続も可能です。

・GoogleチャットのMeet(Googleチャットから作成・利用)

Googleチャットの送信ボタン(紙飛行機のようなマーク)の 左にあるカメラボタンからMeet会議を作成できます。そのま まMeetリンクを送信し、送信された「ビデオ会議に参加」ボ タンから作成したMeetへ参加できます。









<須恵小学校> きらそら:国語/相手の考えを詳しく引き出す質問をしよう 絵や写真を見てどんなことを思っているか考えよう

◆授業のポイント◆

・自分たちで描いたイラストや撮影した写真を使用することで発想を促す

・考えの書き出しや共有・発表の流れがロイロノートに集約されており、授業に集中しやすい

◆授業の流れ◆

① 全員でめあてを読み上げ、児童が描いたイラストからイラストの意図やそれが何かを聞く質問を考える
② 野菜の写真を見ながら、野菜の気持ちになってどんなことを思っているか想像する

③あったらいいなというテーマでものを想像する。想像で生まれたものについての質問や思いを考える

◆授業の様子◆

授業の流れ①~③すべてにおいてロイロノートが利用されていました。先生が例を示したり、児童らの考えを共 有する際には大型モニターも活用されています。児童らも自分のペースでロイロノートへ意見を書き込み、共有し て話し合い、先生や友達と考えを深めていました。



黒板に書かれためあて

大型モニターで意見交換

野菜の写真から思いを想像する

<赤崎小学校>5年生:総合/アサギマダラ新聞を作ろう

◆授業のポイント◆

・ロイロノートを用いた協働的な活動を通して、協力しつつ物事に取り組むという姿勢を学習できる

・大型モニターを利用して発表することで、伝えることや内容のわかりやすさを意識することができる

◆授業の流れ◆

① グループごとに机を近づけて集まる

② 各グループに割り当てられた共有ノートを利用して新聞を作成する

③ 新聞の作成が完了したグループから発表練習を始める

◆授業の様子◆

発表練習については、班内のみではなく大型モニターを利用してクラス全員へ向けて行われました。聞き手の児 童らはChromebookを閉じて、他グループの発表を真剣に聞いていました。発表練習の後は自分たちのグルー プと他グループの違いを考え、改めて新聞の構成について考えたり、発表練習の反省をしている様子が見られ ました。



グループで新聞作成している様子



共有ノートが映されているモニター



発表練習をしている様子